第二回　笑顔発見塾　報告書

日時：2005年　6月　7日（火）　18：30～20：30
場所：パレア第二会議室
参加人数：約50名
講師：吉仲　和子氏
主催：熊本いいくに会　　共催：NPO法人ヒューマン･ライフ･スクール

今回のレポーターは、熊本大学理学部3年、平山加奈子です。
よろしくお願いします！

前回は、自分に自身を持つためには？というテーマの元、第1回笑顔発見塾を開催いたしましたが、今回第二回目は「HOW　TO　EGAO」というテーマの元、どうやったら自然な笑顔が出るのか、また笑顔の効用について、現在新入社員研修等で活躍中の吉仲和子氏を講師としてお招きし、「マナーと心の自立」をテーマに話していただきました。

最初はビジネスマナーについて。
初対面では、第一印象が今後の関係をほとんど決めるそうです。だからこそ常日頃から外見や言葉、態度など気をつけていかないといけないのですね。特に笑顔は重要。笑顔はエネルギーがないとできないんです。それは「相手に好意をもってもらいたい」と、相手のことを考える余裕があるからこそできるのだそうです。

みだしなみについては、「自分は商品」と思って少々お金をかけたほうがいいそうです。そうすることで、気も引き締まってやる気が出てくんです。確かに、いいものを着ていると前向きな気分になりますし、自分への投資と思えば少々物が高くても苦にはならないような気がします。

印象をよくする言葉と態度についてもお話してくださいました。返事をするときに「はいっ！」と吃音を入れる。これだけで、普通に返事するより、ずいぶんと印象が違ってきます。
また、笑顔を心がけることで相手にも印象がよく、このとき口角が少し上がることで額の温度が３度下がり、頭が冷静な状態になるそうです。笑顔の意外な効能を知ることができ、とてもためになりました。

クッション言葉をTPOにあわせて言葉や表現を変えることで､頼み事をするときなど相手を誘導しやすくなるそうです。その方が相手も気持ちよく承諾できますね。
それから今の若い方がとくにできていないという「敬語」について、わかりやすく説明していただきました。経営者の方、上の方になるほど、敬語をすらすらと話せるそうです。やはり、社会に出る上で敬語がきちんと使用できるということは、とっても重要なことなんですね。

マナー編が一段落したところで休憩を挟んで、次に「心の自立」についてお話してくださいました。
始めは「情報の自立人」という話。人間はパーフェクトではない、人間に完全を求めたら失望する。だからこそ、情報を鵜呑みにしてはいけない。例えば尊敬する人だからといって、その人のいったことすべてを正解ととってはいけない。常に例外があるのではないかと考えること。
自分の中で租借して、自らでその情報が正しいのかを判断することが大事なのだとか。

自立することとして「志」の大切さについても話してくださいました。「志」を持つことでパワーがひとつに集中し、目標へ向かっている階段から落ちることがあっても、またゴールへ向かうことができるそうです。また、「志」と「願い」は違うもので、願いはベクトルがあちらこちらに向いてしまって、ゴールへなかなかたどり着くことができないそうです。「志」と「願い」は、似ているようで違うものなのですね。
「志」（目的や目標）を常に思っているうちに、潜在意識となり、それが自分を動かす力となっていくのです。

最後に、言葉に表すということの大切さを教えていただきました。
いくら言葉を交わさなくてもわかるぐらい仲のいいかんけいであっても、やはり感謝の言葉など、相手を思いやる気持ちを言葉に表すことは大事なのだとか。これは、お互いに大人、つまり自立できている人こそやれることなんそうです。
自立していない依存人は、何かしてほしいと思ってばかりで「ありがとう」を出し惜しみしてしまうそうです。たとえ、長年付き添っている夫婦でもやっぱり言葉に出して感謝の気持ちをスムーズに言えることが大事だと。
そうすることで、お互い気持ちよく付き合っていけるのですね。

今回のお話は、これから社会に出る学生の方や、今アルバイトをされている方にとっても、とてもためになるお話だったので、みなさん真剣に話を聞かれていました。
ここで教わったことを参考に、実際に生かして、ぜひ自分のものにしていってください！